

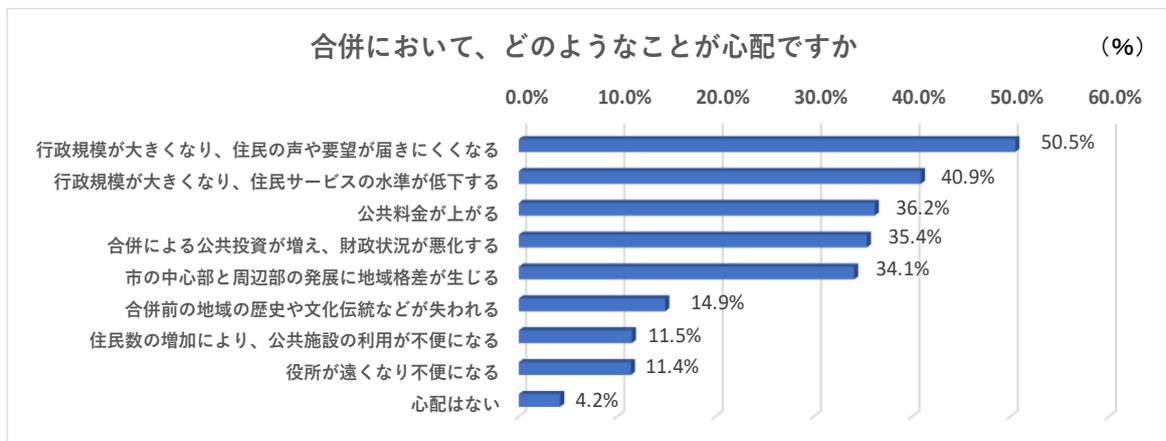
8 市民意識の状況

(1) 市町村合併に関する住民アンケート

平成15年7月に新市建設計画の策定にあたり、新しいまちづくり全般に対する住民の意向を把握し、計画に反映させるために、1市1町3村(旧武芸川町含まない)に居住する18歳以上8,500人を対象に「市町村合併に関する住民アンケート」を実施しました。

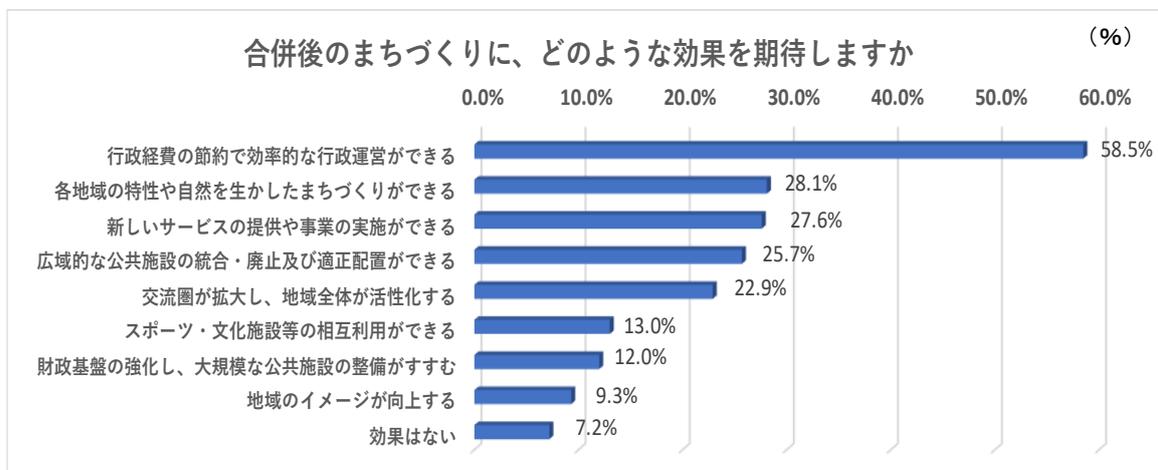
ア 合併において、どのようなことが心配ですか。(複数回答)

行政規模の拡大に伴い、住民の声や要望が届きにくくなることや、これまで受けていた行政サービスが受けられなくなるのでは、という不安が多かったことが分かります。



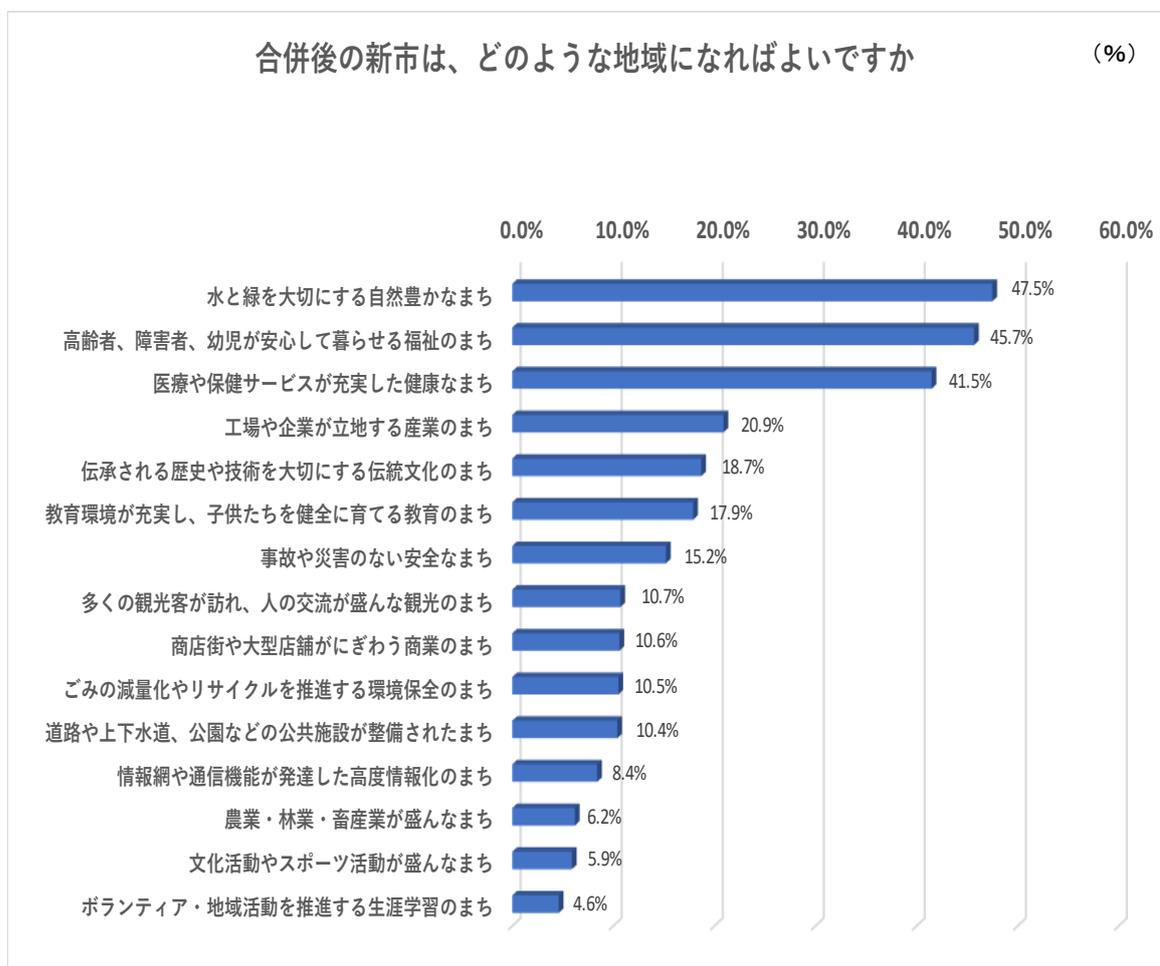
イ 合併後のまちづくりに、どのような効果を期待しますか。(複数回答)

市町村合併に対して期待される効果については、「行政経費の節約による効率的な行政運営」が6割近くの回答になっており、期待が大きかったことが分かります。また地域の特色あるまちづくりや、交流圏の拡大による地域全体の活性化への期待も現れています。



ウ 合併後の新市は、どのような地域になればよいですか。（複数回答）

新市の将来像としては、豊かな自然環境が保全される中で、保健・医療・福祉が充実したまちを望んでいたことが分かります。



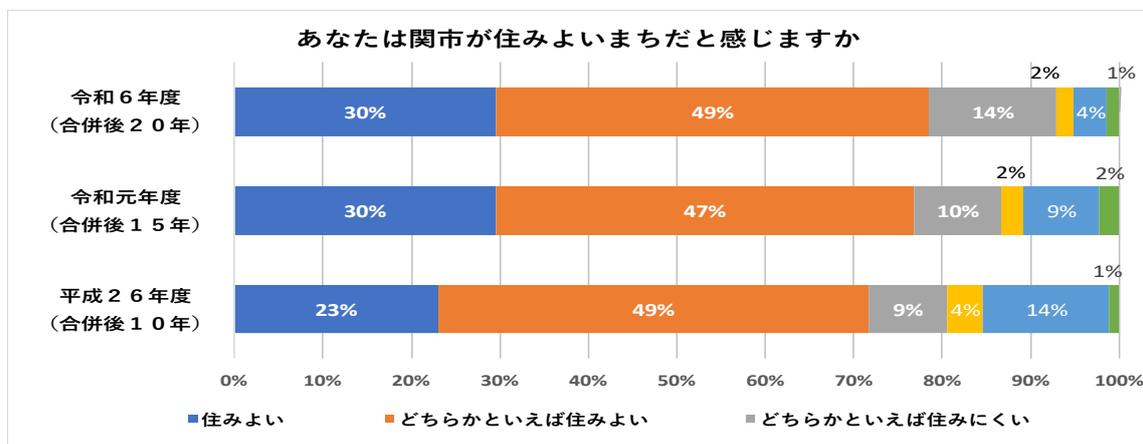
(2) 市民アンケート（せきのまちづくり通信簿）

市では、市民のニーズとともに、各施策の進捗状況を把握するため、平成24年から毎年16歳以上の市民3,000人を対象に市民アンケートを実施しています。

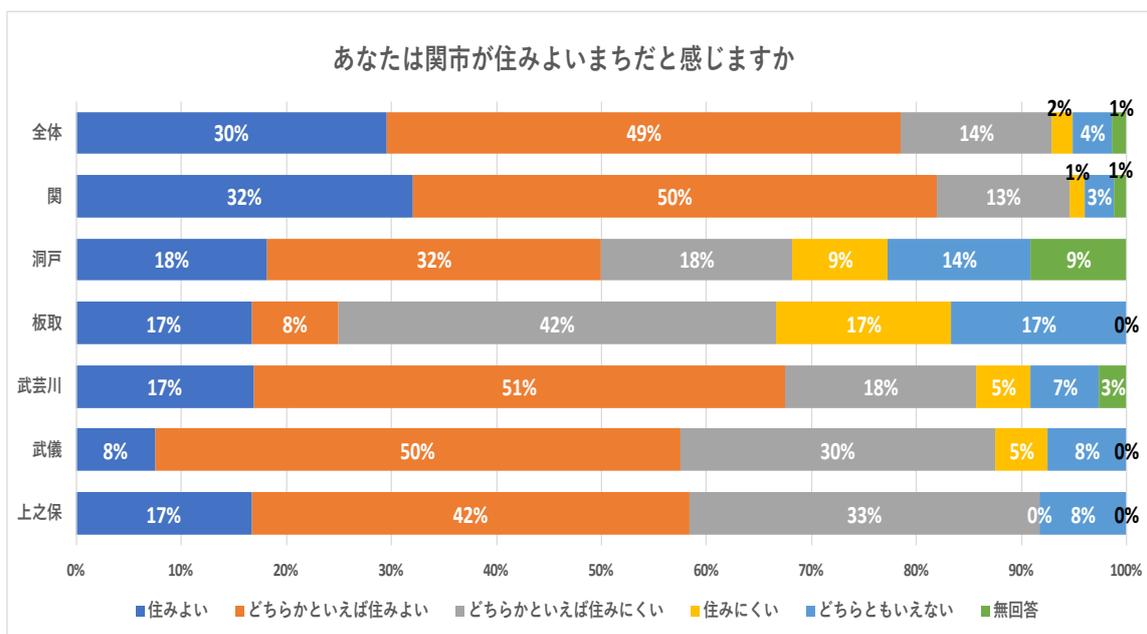
ア あなたは関市が住みよいまちだと感じますか。

本市が「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と感じている市民の割合は、平成26年（合併後10年）の72%から7ポイント増加し、令和6年（合併後20年）は79%となっています。また地域別では、板取地区で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と感じている市民の割合が約6割を占めており、急激な人口減少や高齢化の進展が生活に影響していると考えられます。

合併後の推移



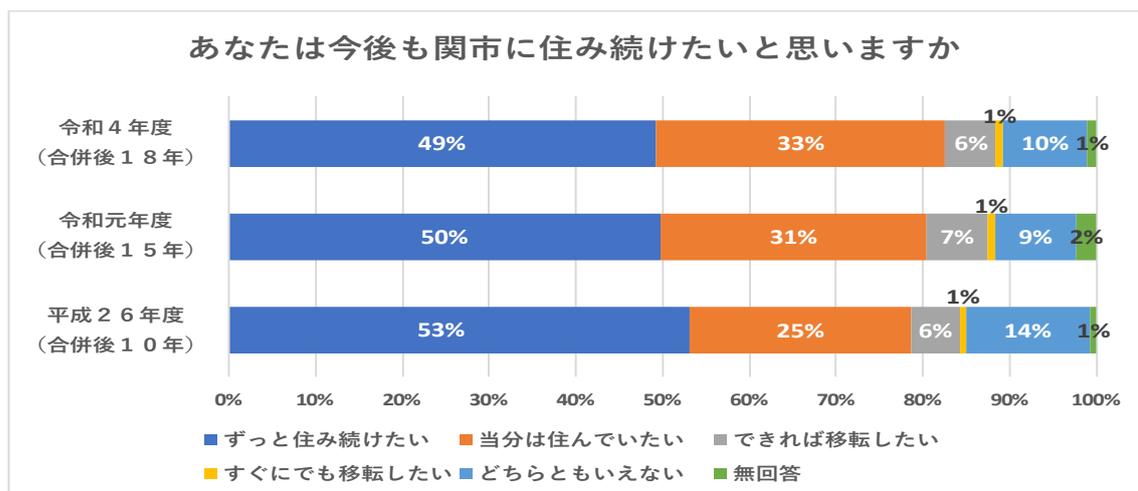
地区別（令和6年度）



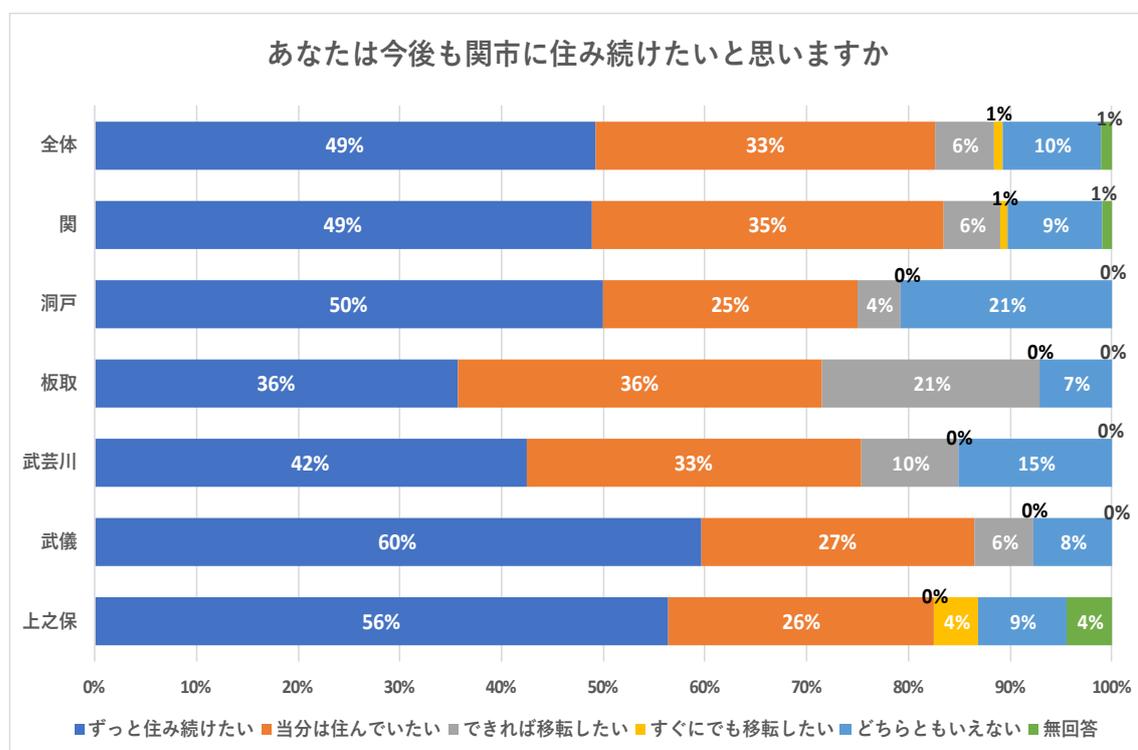
イ あなたは今後も関市に住み続けたいと思いますか。

本市に「ずっと住み続けたい」「当分は住んでいたい」と考えている市民の割合は、平成26年（合併後10年）の78%から4ポイント増加し、令和4年（合併後18年）には82%となりました。地域別に見ると、武儀地区では、この割合が87%と特に高くなっています。

合併後の推移



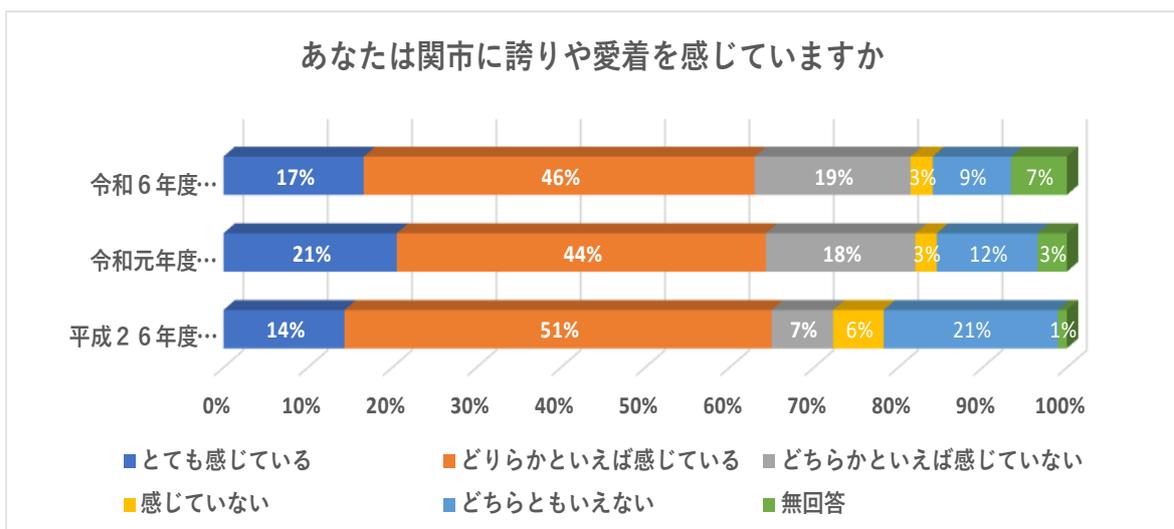
地区別（令和4年度）



ウ あなたは関市に誇りや愛着を感じていますか。

本市に誇りや愛着を「とても感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した市民の割合は、平成26年（合併後10年）の65%から2ポイント減少し、令和6年（合併後20年）には63%となりました。地域別に見ると、関地区と上之保地区ではこの割合が66%と高くなっています。

合併後の推移



地区別（令和6年度）

